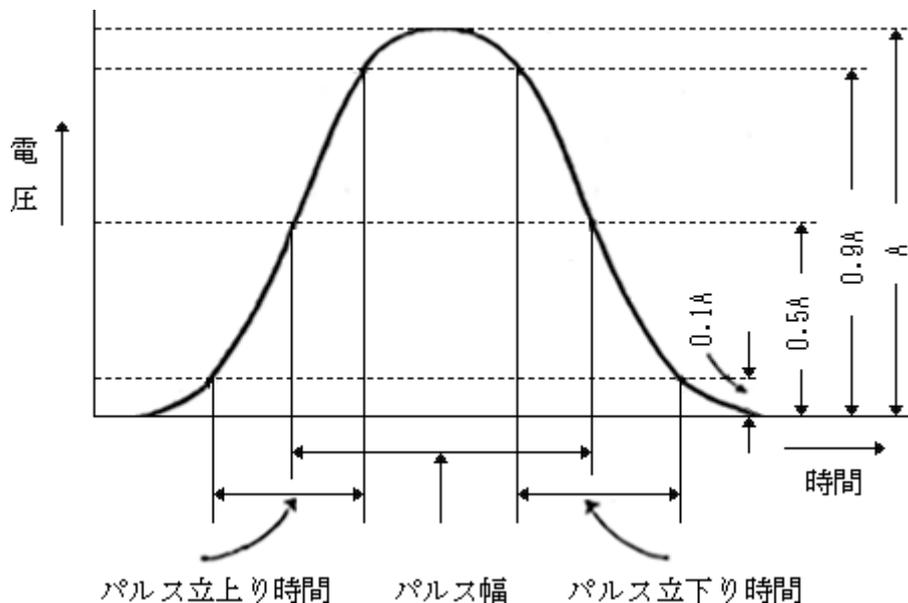


別図第七号 SSR、質問信号送信設備及びACASが送信する質問信号及び抑圧信号の特性(第45条の12の6及び第45条の12の11関係)

1 パルス波形



注 パルス幅、パルス立ち上がり時間及びパルス立ち下り時間は、次のとおりであること。

(1) モードA及びモードCの場合

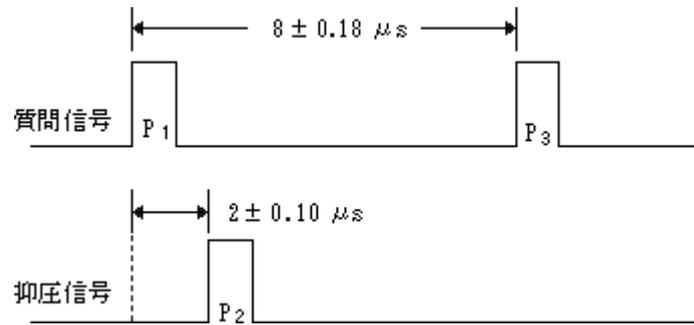
パルス幅	$0.8 \pm 0.1 \mu s$
パルス立ち上がり時間	$0.1 \mu s$ 以下
パルス立ち下り時間	$0.2 \mu s$ 以下

(2) モードA/C一括、モードA/C/S一括及びモードSの場合

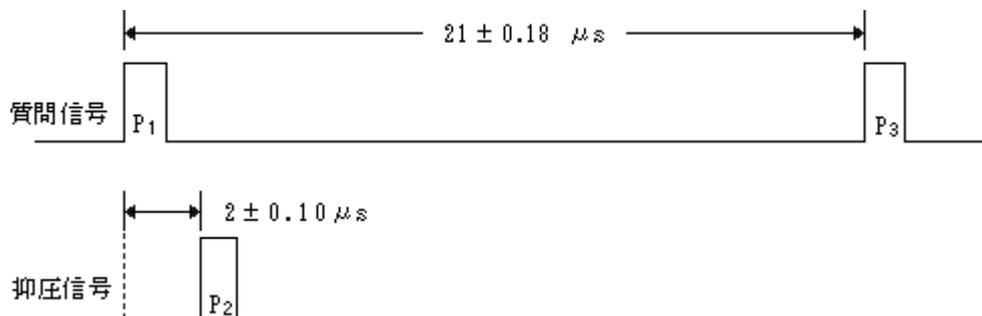
P <sub>1</sub> , P <sub>2</sub> , P <sub>3</sub> , P <sub>4</sub> (短), P <sub>5</sub> のパルス幅	$0.8 \pm 0.09 \mu s$
P <sub>4</sub> (長)のパルス幅	$1.6 \pm 0.09 \mu s$
P <sub>6</sub> (短: 56ビット)のパルス幅	$16.25 \pm 0.20 \mu s$
P <sub>6</sub> (長: 112ビット)のパルス幅	$30.25 \pm 0.20 \mu s$
パルス立ち上がり時間	$0.1 \mu s$ 以下
パルス立ち下り時間	$0.2 \mu s$ 以下

## 2 質問モードの種別及びパルス間隔

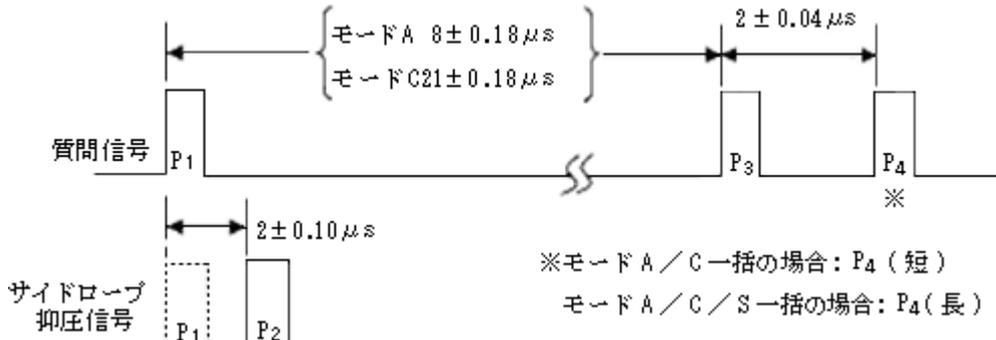
### モードA



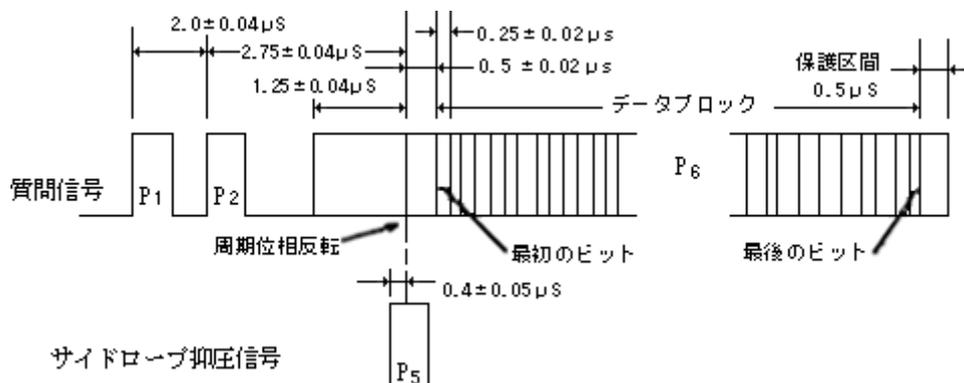
### モードC



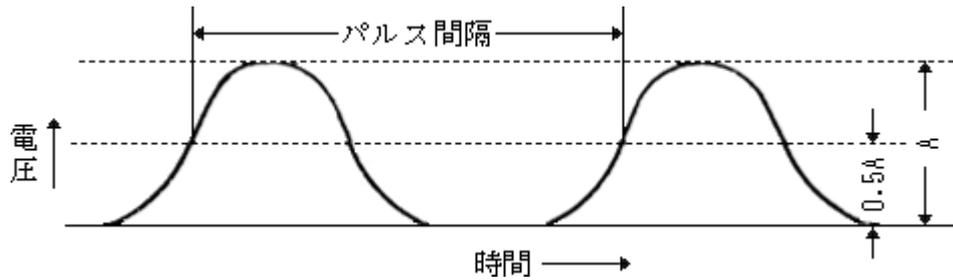
### モードA/C一括又はモードA/C/S一括



### モードS



注1 パルス間隔の詳細は、次のとおりとする。



- 2 モードA又はモードCの質問信号を送信する空中線の主輻射<sup>ふく</sup>の方向において、パルス $P_3$ の尖頭電力<sup>せん</sup>は、パルス $P_1$ の尖頭電力<sup>せん</sup>に比して(±)1dB以内とする。
- 3 質問信号を送信する空中線の主輻射<sup>ふく</sup>の角度の幅の範囲内において、パルス $P_2$ の尖頭電力<sup>せん</sup>は、パルス $P_1$ の尖頭電力<sup>せん</sup>に比して9dB以上低いこと。
- 4 質問信号を送信する空中線の主輻射<sup>ふく</sup>の方向以外の方向における最大輻射<sup>ふく</sup>において、パルス $P_2$ の尖頭電力<sup>せん</sup>は、パルス $P_1$ の尖頭電力<sup>せん</sup>より大であること。
- 5 モードA/C一括及びモードA/C/S一括の質問信号のパルス $P_3$ の尖頭電力<sup>せん</sup>は、パルス $P_1$ の尖頭電力<sup>せん</sup>に比して(±)0.5dB以内、パルス $P_4$ の尖頭電力<sup>せん</sup>は、パルス $P_3$ の尖頭電力<sup>せん</sup>に比して(±)0.5dB以内とする。
- 6 モードSの質問信号のパルス $P_6$ の尖頭電力<sup>せん</sup>は、パルス $P_2$ の尖頭電力<sup>せん</sup>に対し0.25dB低い値以上であること。
- 7 質問信号送信設備及びACASにあつては、応答の重畳数を減少させるため、質問信号に抑圧パルスSを使用することができる。この場合において、抑圧パルスSは以下の条件に合致すること。

パルス幅	0.8±0.09 μs ただし、ACASIは0.8±0.10 μs
パルス立ち上がり時間	0.1 μs以下
パルス立ち下がり時間	0.2 μs以下
尖頭電力 <sup>せん</sup>	パルス $P_1$ の尖頭電力 <sup>せん</sup> より小さいこと。
パルス発射のタイミング	パルス $P_1$ の前に発射するものとし、パルスSとパルス $P_1$ の間隔は2±0.10 μsであること。